

勤務体制の 見直しに着手し 意欲アップの職場づくりを促進

東京クリアランス工業株式会社

東京クリアランス工業株式会社は昭和48年の創業以来、ビル・マンション・店舗など設備の維持管理をはじめ、空調・給排水・電気・消防設備の設計施工や建物全般の修繕工事、水槽・水管の点検清掃など多岐にわたって業容を展開、地域に根差し、日々の暮らしの安心・安全・快適をサポートすることで社会貢献を目指してきた。

5年前に夜勤明けの従業員が現場でけがをしたことで勤務体制を抜本的に見直し、「会社の元気の素は従業員の健康」を合言葉に従業員の健康管理を積極的に推進、その画期的な取り組みを紹介する。

企業健康づくりに舵を切る

「父の跡を継いで社長に就任したとき一番に考えたことは、従業員が健康で明るく働ける職場づくりでした。創業当時からベテラン従業員を重用し、現在も平均年齢が60歳という当社にとって、従業員の健康づくりは大切な優先課題です。すでに全国健康保険協会（協会けんぽ）に入り、年に1度の定期健康診断や貯水槽の作業に携わる者は半年に1度検便などの検査を実施してきました。しかし、水漏れなど緊急事態に対応するための夜間勤務もあったことから、従業員の負担を軽減させるにはもう一步進んだ健康促進の取り組みが必要ではないのかと模索する毎日でした。そんな折、貯水槽の点検や清掃を手掛けていた関係で、地域の保健所のリーフレットづくりに民間企業として協力することになりました。また、東京都福祉保健局主催のフォーラムなどに参加する機会も増え、企業の健康づくりを一から勉強させてもらうことができました。ご縁がつながり最近ではフォーラムのパネラーを引き受けています」と鈴木美穂代表取締役社長は語る。さ

らに、「縁といえば7年ほど前に商工会議所の会報誌でたまたま地域産業保健センター（以下、地産保）の情報を知り、思い立ったら即行動に移す私は、当時東京都三鷹の医師会館にあった地産保を訪ねました。その後はコーディネーターにいろいろと相談に乗って頂き、安全衛生の講習会などにも積極的に参加しました。私はか

お魚デーの社内の様子



つてリラクゼーションの仕事をしていたこともあって、健康に対する関心は高い方だと思っていましたが、地産保で学ぶことはすべて新鮮でした。総務担当の従業員も一緒に勉強を重ね、今では当社の産業保健活動の要となっています。地産保に出会ったことが当社の健康づくりの取組みの第一歩となりました」と振り返る。

9時から17時の勤務を実現

最初に着手したのは会社の実態をデータとして見つめることであった。独身男性の率や平均年齢、喫煙率や飲酒など会社自体のカルテを作り、その状況を踏まえた上で健康診断を実施するようになった。また、健診結果については地産保の産業医からの意見聴取サービスも利用し、健診結果に基づく適切な健康相談や指導を受けられるようになった。それぞれ主治医はいたとしても産業医という第三者から直接健康についてのアドバイスをもらうことは従業員にとっては画期的なことであり、健診の重要性に気づく従業員が増えた。また、健診結果は、65歳以上を対象とする雇用延長の際の対応にも活用された。会社の取組みは少しずつ実を結びつつあったが、今から5年前に夜勤明けの従業員が貯水槽の清掃作業で手を骨折するという事故が発生、新たな課題に直面した。

「その時のことは今でもはっきり覚えています。一番若いスタッフだったこともあり、もっと大げがであったらと、一瞬恐ろしくなりました。泊まり込みで待機していたため寝不足だったのだと思います。私は即座に夜間勤務の廃止を決めました。その頃警備業法の改正で、当社の泊まり込み勤務も他の警備会社に移行できるようになったことから夜間業務を外部委託することにしました。もちろん宿直手当がなくなりますので従業員と丁寧に話し合い、従業員の安全こそ会社にとって何より大切であり、従業員の健康が会社の宝であると伝えました。話し合う中でスタッフから泊まり込み勤務はつらいという声も聞こえてきて、以来、9時から17時の勤務を徹底しています。何か急を要することがあればまず大手警備業者に連絡が入り、その次に代表である私の家に連絡が来るようになっていきます。私た

ちが大変だと思われるかもしれませんが水漏れなどの緊急通報はそんなに頻繁にあるわけではなく対応は可能です」と鈴木社長は屈託がない。

勤務時間が9時から17時に徹底されたことで、従業員は終業後の時間を自由に使うことができる。プライベートな時間の充実は仕事に反映されると経営陣は確信しているが、不思議なもので17時までには終わらせなければならぬため勤務にメリハリができ、従業員の意欲もアップした。さらにその前向きな姿勢は顧客満足につながり、新たな仕事の依頼も生まれている。

ユニークな福利厚生「お魚デー」開催

「暮らしの安全・安心のサポートを標榜する会社だからこそ、まず私たちが健康でいなければというのが従業員の共通した思いです。実に面白い会社でして、17時にはもう誰も社内に残っていませんが、工夫さえすれば経営は成り立ちます。朝一度出社してからそれぞれ現場に散ってしまうので、日ごろのコミュニケーション不足を補うために福利厚生の一環として月に一度『お魚デー』を実施し、この日ばかりは16時に仕事を終え、新鮮な刺身などをつまみながら親睦を深めています**(写真)**。無口な人もお酒が入れば口も軽くなり、従業員の状況や悩みも把握できる格好の場となっていますし、若い従業員が人生の大先輩から貴重な話が聞けるのもこの『お魚デー』です。

実は私には2つの願いがあります。一つは当社で働き終えた人たちが地域で活躍する人材となってほしいということです。もう一つは願いというより夢かもしれませんが、当社の従業員も含めた食生活の充実ということです。食材にこだわり、身体に優しい『食』を提供したい。食堂経営という形になるかどうか漠然としています。何らかのアプローチをしていけたら、『食』は命の源、夢だけは見続けていこうと思っています」鈴木社長は笑顔で締めくくった。

会社概要

東京クリアランス工業株式会社
事業内容：総合ビル管理、マンション管理
設立：昭和48年
従業員：33人
所在地：東京都武蔵野市